

大会名 Competition	日本スポーツマスターズ秋田大会2016 女子の部
女子決勝	Year Month Day Time 2016 年 9 月 27 日 10 : 00
場 所 Place	三種町琴丘総合体育館



秋田県バスケットボール協会

チームA		チームB										
大阪B	<table border="1"> <tr><td>12 1st</td><td>12</td></tr> <tr><td>8 2nd</td><td>8</td></tr> <tr><td>10 3rd</td><td>10</td></tr> <tr><td>14 4th</td><td>16</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td></tr> </table>	12 1st	12	8 2nd	8	10 3rd	10	14 4th	16	OT		埼玉A
12 1st	12											
8 2nd	8											
10 3rd	10											
14 4th	16											
OT												
44 ●		46 ○										

主審:Referee  
水 木 順 仁 秋田

副審:Umpire  
近 藤 孝 昭 秋田  
安 杖 勇 一 秋田

テーブル・オフィシャル:Table officials  
県立能代松陽高等学校女子バスケットボール部

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	
6	×	奥 殿 友 俐 子	CAP	11	1	2	4	1	3	河 田 滋 子				-	-	-	-	-
7		大 原 律 子		-	-	-	-	-	4	×	江 森 ゆかり		12	2	3	0	2	
8	/	林 裕 美		0	0	0	0	2	6	×	尾 川 由 佳	CAP	5	1	0	2	2	
9	×	石 橋 真 理 子		11	1	3	2	1	7	×	椎 名 麻 奈 美		5	1	1	0	2	
10	×	西 村 ち よ		6	1	1	1	3	8	×	竹 園 幸 代		10	0	3	4	2	
11		松 任 理 佳		-	-	-	-	-	9	/	染 葉 和 美		6	2	0	0	4	
12	×	川 上 奈 恵 美		9	0	3	3	3	12		高 橋 久 美 子		-	-	-	-	-	
13		畑 岸 邦 枝		-	-	-	-	-	16		佐 々 木 亜 希 代		-	-	-	-	-	
14	×	金 田 祥 子		0	0	0	0	2	19		菅 田 ま さ み		-	-	-	-	-	
15	/	中 野 厚 子		7	1	1	2	3	24		中 村 真 寿 美		-	-	-	-	-	
16		村 上 な お み		-	-	-	-	-	25		高 田 晃 子		-	-	-	-	-	
17		松 田 洋 子		-	-	-	-	-	35	×	山 口 恭 子		6	0	2	2	3	
				-	-	-	-	-	51	/	深 沢 裕 美		2	0	1	0	4	
				-	-	-	-	-	55	/	松 本 泉		0	0	0	0	1	
				-	-	-	-	-					-	-	-	-	-	
				-	-	-	-	-					-	-	-	-	-	
				-	-	-	-	-					-	-	-	-	-	
				-	-	-	-	-					-	-	-	-	-	
				-	-	-	-	-					-	-	-	-	-	
コ-チ		奥 殿 友 俐 子							コ-チ		竹 園 幸 代							
Aコ-チ		中 野 厚 子							Aコ-チ		岩 谷 秀 明							
合 計				44	4	10	12	15	合 計				46	6	10	8	20	

※×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P\* イントシュート 2P:2P\* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

決勝は大阪選抜Bチームと埼玉Aチームの対戦となった。  
 第1Q:両チームともにハーフコートのマンツーマンでスタート。立ち上がり大阪Bは#6奥殿のジャンプシュートで先制。対する埼玉Aは#4江森がドライブで入れ返す。しばらく膠着状態が続いたが、残り6分となったところで埼玉Aは#7椎名の3P、#35山口のポストプレー、#4江森の3Pなどで加点する。大阪Bは#10西村、#15中野の連続3Pなどで追い上げ、終盤に#6奥殿が4本フリースローを確実に決めて追いつき、12-12で第1Qを終了する。  
 第2Q:両チームともシュートに対するチェックが厳しく得点が伸びない。大阪Bは#6奥殿の3Pと#9石橋のジャンプシュート、埼玉Aは#4江森のドライブと#6尾川の3P、それ以外はすべてフリースローでの得点となる。両チームともタイムアウトを請求したり、ディフェンスに変化をつけたりするも拮抗した流れは変わらない。20-20の同点で前半を終了する。  
 第3Q:主導権を握りたい埼玉Aは#4江森のドライブ、#35山口がフリースローを決め先制するも、大阪Bは#6奥殿がインターセプトからのドライブ、#12川上のゴール下で入れ返す。その後、埼玉Aは#7椎名のジャンプシュート、大阪Bは#9石橋と#51深沢がゴール下を決め、一進一退の攻防が続く。埼玉Aがわずかにリードしていた終了間際、大阪B#15中野のゴール下がバスケットカウントとなり、ボーナススローも確実に決め同点に追いつく。30-30で終了。  
 第4Q:開始早々、大阪Bは#15中野がジャンプシュートを決めて先制するが、埼玉Aは#8竹園がすぐに入れ返す。その後、大阪Bは#12川上のドライブ、#10西村のミドルシュート、#9石橋の3P、#12川上のジャンプシュートなどで得点。対する埼玉Aは#8竹園のリバウンドシュート、#4江森の3P、#9染葉の2本の3Pで応戦し、残り1分を切っても流れはどちらにも傾かない。同点で迎えた残り1秒、埼玉A#8竹園が決勝点となるゴール下を決め、熱戦にピリオド。埼玉Aが46-44で優勝を決めた。  
 両チームとも気迫あふれるプレーで、決勝にふさわしいナイスゲームであった。